



【学校教育目標】 「自分をみがき未来をひらく湯原っ子の育成」

【めざす学校像】 「笑顔あふれる学校」

【めざす子ども像】 「チャレンジする子」「ともに伸びる子」



令和7年度全国・県学力・学習状況調査結果から

4月17日に行われた全国学力・学習状況調査および岡山県学力・学習状況調査の結果が返ってきました。この調査は、児童の学力や学習状況を全国・全県に照らして把握・分析し、指導の充実、学習状況の改善に役立てるために行われます。子どもの学力は多面的な見取り方ができますが、その中でも数値化できるもの、いわゆる認知能力の一面を調査したものです。

全国学力調査について、湯原小学校6年生は、国語・算数とも平均正答率が全国平均より低く、理科はほぼ平均並みの結果でした。

岡山県学力調査は3～5年生を対象として行われました。こちらも、平均正答率が県平均よりも下回る結果となり、低学年からの基礎学力の定着が課題となりました。

この結果を受けて、校内で正答率の低い問題や児童の解答類型を分析し、今後の対策を検討しました。また、湯原中学校と合同の研修会も実施し、湯原小中学校の子どもたちの学力課題について、協議を行いました。

本校では、今年度、「学びを楽しむこと」を柱として、子どもたちが主体的に学びに向かう姿を目指して授業づくりを行っています。今後は新しい学習内容だけでなく、これまでに学習した内容にも児童自らが目を向けて取り組み、定着を図れるような働きかけを行いながら、「学ぶ楽しさ」を追求していきます。



児童質問紙より

6年生、5年生を対象に行った学習状況調査の回答結果の一部を裏面に載せています。4月時点の児童の意識ですが、全般的に素直で前向きな姿勢を持つ児童が多く、地域に根差した学びや生活ができているように感じました。

気になるのは、家庭学習の時間です。平日、休日とも家での学習時間や読書の時間が大変短く、家庭での学習習慣が十分身につけていないことが考えられます。そして、ゲームやスマホなどのメディアの時間が長いことも気になります。

学力の定着には家庭学習が不可欠です。家庭でも落ち着いて学習に向かう習慣を低学年から形成することや、メディアから離れて知力体力を鍛える環境づくりなど、お子さんと一緒に考え、取り組んでいただけると幸いです。

質 問	学年	湯原小	県	全国
1. 学校に行くのは楽しいと思いますか。 肯定的回答の割合(%)	6年	100	86.4	86.4
	5年	81.3	89.5	
2. 将来の夢や目標をもっていますか。 肯定的回答の割合(%)	6年	88.9	81.3	83.1
	5年	93.8	87.1	
3. 地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか。 肯定的回答の割合(%)	6年	100	82.4	81.3
	5年	81.3	72.7	
4. 授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか。 「ほぼ毎日」と答えた児童の割合	6年	100	57.1	46.7
	5年	68.8	30.0	
5. 算数の授業はよくわかりますか。 肯定的回答の割合(%)	6年	88.9	75.9	78.3
	5年	87.5	84.5	
6. 授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか。 肯定的回答の割合(%)	6年	77.7	77.8	80.3
	5年	68.8	75.1	
7. 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか。 肯定的回答の割合(%)	6年	100	78.1	79.4
	5年	81.3	70.3	
8. 普段1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。 「1時間以上」と答えた児童の割合(%)	6年	33.3	58.1	54
	5年	6.3	53	
9. 普段1日どれくらいの時間ゲームをしますか。 「1時間以上」と答えた児童の割合(%)	5年	75.1	76.8	
10. 普段1日どれくらいの時間動画視聴や SNS を しますか。 「1時間以上」と答えた児童の割合(%)	5年	56.3	46.8	

今後の取組

〔学ぶ意欲の向上〕多様な学び方を模索しながら、学ぶ楽しさを感じる授業づくりを進めます。

〔読みの力の育成〕言葉に関心をもち、語彙を増やして、読みの力をつけていきます。

〔基礎基本の定着〕朝学習の時間を活用して、言葉や漢字、計算などの基本的な力を繰り返してトレーニングしていきます。

〔個別の支援〕 ICT やアセスメントシートを活用し、一人一人のつまずきを見取りながら、苦手克服を支援します。

〔家庭学習の定着〕授業と家庭学習のサイクルがうまく循環するように課題の出し方を工夫したり、家庭学習のアドバイスをしたりします。

